



広報

せと 7

風車ロゴマーク



子ども達が楽しみにしていた七夕会。会場はお父さんやお母さん方の手で楽しさいっぱいの飾り付け

地区の子ども集まり七夕会

塩成保育園で7月11日(金)夕方、保育園児と保護者、家族、小中学生が大勢参加して七夕会が開催されました。園庭に飾られた笹飾りには園児らの願い事が書かれた短冊がつるぎれ、提灯の飾り付けや所狭しと並べられたかき氷やポップコーンの機械などが夜店気分を盛り上げていました。開始直前に降り出したあいに雨で小学校講堂へと場所を移して始まった七夕会は、金魚すくいやヨーヨーつり、おもちゃの当てるくじ引きやかき氷など各コーナーの前に子ども達の長い列ができ、お父さん方が汗だくで対応に追われるなど、会場は子ども達のはしゃぐ声と笑顔がはじけ、楽しさで溢れていました。

今月の主な内容

- 6月定例会報告 2~3
- まちの話題 4~5
- 児童扶養手当 6
- 消防署職員募集 7
- みんなの作品・分署だより 8
- お知らせ 10~11

六月定例町議会

三崎町の合併協議会加入を可決

六月二十三日に開かれた定例町議会に、三崎町の合併協議会加入案件など二十三議案が上程され、審議の結果いずれも原案のとおり可決されました。また、井上町長は本年十月の任期満了に関する山本吉昭議員の一般質問に答え、議会・町民の支持を前提に、引き続き合併まで町長の職責を果たしたいと表明しました。

主な議案の説明

▽伊方町・瀬戸町合併協議会への三崎町の加入及びこれに伴う合併協議会規約の変更
本年一月に伊方・瀬戸の二町で設置した合併協議会に、三崎町から加入の申し入れがあったので、これを審議し可決した。また、三崎町の加入に伴い、合併協議会の名称変更など必要な規約改正を行い、七月二日から施行することを併せて決定しました。

伊方町・瀬戸町・三崎町合併協



合併協議に向けて協力を約す3町長

一般質問(要旨)

紙面の都合上、掲載内容は初回質問(初回答弁)のみとさせていただきます。



上田 實議員

▽井上町政二期目の総括評価について
井上町政二期目の主要施策として位置付けられた①定住促進施策②保健・福祉・医療施策③産業活性化施策④町づくり施策について、個々にどう評価されているか、反省すべき点はあるか、また、具体的な自己評価点はどうお伺い致しますか。

町長

まず定住促進施策ですが、急激な過疎化に伴う諸問題に

対処するため、地域後継者の定住施策並びに都市住民のU・Iターン施策に意を注いでいる。平成十一年から十二年にかけて瀬戸町発足以来、初めて転入者が転出者を上回り、一定の成果を見ているのと考えます。
次の保健・福祉・医療施策ですが、二期目就任後間もなく介護保険制度の導入という大きな節目を迎え、これの適確な対応に意を注いで参りましたが、高齢者比率が四十%を超えているという超高齢化社会の中で成すべき施策は多々ありますが「住み慣れた地域で心豊かに安心して暮らせる環境づくり」を究極の目標として、瀬戸診療所の開設、また特別養護老人ホームの誘致に取り組み、これを実現できたことので約の一端を果たせたものと安堵しております。
次に産業の活性化ですが、農漁業の生産基盤整備を始めとする従来型の施策に加え、地域固有の資源を採し、磨き、あらゆる面で瀬戸町らしさを

前面に押し出すことにより、地域産業全般のレベルアップに努めて参りました。

目指すところは言うまでもなく他地域との差別化や交流人口の拡充による町産品の消費拡大であり、観光・サービ

ス業といった新しい産業分野の開拓でございます。これはまだ道なればであり、成果を云々できる状況ではありませんが、強いて挙げますれば風力発電事業による地域の個性づくりや医療・福祉施設の整備に連動した雇用の創出等でございます。

また、町づくりの面ではスクールバスを利用した町営バス事業や身近な住民要望に即応する「身の回り行政」、また携帯電話の不地域解消事業など、高齢者や住民生活に配慮した町づくりに努めて参りました。

最後に具体的な自己評価点ですが、これは皆様にご判断いただくものであります。この中で、第三者評価に委ねたいと思っております。



山本 吉昭 議員

▽井上町長の行政運営について

本町ではここ最近、風力発電事業や特別養護老人ホームの誘致など、大変大きな事業を行っております。また、今後もアグリトピア事業や地区内道整備など様々な事業を行おうとしておりますが、交付税の減額や補助金の廃止が見込まれる中、財政面において大丈夫なのかお伺い致します。②リゾート地区に現在十八世帯の方が住んでいますが、地区の皆さんが集まる場所があります。行政区として、町行事にも積極的に参加しております。町として集会的な施設を整備する計画が無いのかお伺い致します。

③町長が就任以来二期八年が過ぎようとしております。市町村合併という大きな流れの中、十月に任期満了となりますが、町長の今後の考えをお伺い致します。

町長



10月1日の運転開始を目指す風力発電施設

決して豊かな町ではありませんが、私は町長就任以来、常に小さいことを嘆かず、小さいから出来ないときらめないこと、お金が無いから何もしないとか否定的・悲観的にならないことを心がけてきました。お金が無ければ、どう工夫して住民福祉を向上すべきか、あるいはどう元気を町を創造して行くべきか、自分なりに一生懸命努力してきたつもりであります。

身の丈以上に様々な事業を実施してきましたことは、議員の皆様もまともに、町民の皆様のご指導とご協力、そして実務を担当する役場職員の方々と奮起の賜であると感謝しております。

そこで、十月の任期を控えてどう考えるかのご質問ですが、十六年十月を目黒期日とする合併協議も「イザ本番」という時期でもあり、議員の皆様のご支援・ご協力が頂けるのであれば、その役割を引き続き果たさなければならぬと考えております。

(3)

農業者インターン生として新たな人生スタート
この町に根ざし、農業で生きたい



原山 康弘
昭和44年1月8日生まれ(34歳)
出身地 兵庫県神戸市
現住所 町営住宅上倉団地

「農業で生きたい」
「この町が第二の故郷になるんやな」期待半分不安半分、引越の荷物を積んで地切大橋渡ったときに思ったこと。農業インターン制度で研修生として採用して頂き、この七月にあがれてきた農業の道を一歩踏み出すことができた。この場を借りて改めて関係者の方々に感謝申し上げます。まだ日が浅く、稲穂の農作業は摘果・防除等内容は序の口だと思われますが、未知の世界に飛び込んで毎日が驚きと感動の連続です。というのも、こ

れまでは農業とは全く関係のない職業(塾講師、トラック運転手、ガソリンスタンド従業員など)で生活も都会とほぼ別れている所、海を見下ろす段々畑での作業とはまさに畑違いです。それだけにゼロからのスタートだと自覚し、「農業で生きていく」目標に向けて日々研鑽を積むつもりです。生活面では多少不便なところもありますが、豊かな自然の中で健康的な生活が送れそうです。夜更の習慣が長く、朝早く起きる前には有線放送のラジオを聞きながら、早朝(6時)に流れる「瀬戸の花嫁」が自覚し、本物の花嫁さんが目覚ましになってくれています。早く一人前として瀬戸町民の仲間入りしたいです。何か見かけたら幸いながら話しかけて頂ければ幸いです。

この農業情勢の厳しい時に農業に新たな人生を託そうと瀬戸町にやって来た原山さん、また活力ある瀬戸町農業の起爆剤になれるよう町民の皆様温かいご支援、ご協力をお願いいたします。(産業課より)

伊方町・瀬戸町・三崎町合併協議会 法定協議会規約調印式開催



伊方町・瀬戸町の法定合併協議会に三崎町が新たに参加することとなったのを受けて、三町による法定協議会の規約調印式が六月二十七日(金)、町民センターで行われました。法定協議の議長は井上瀬戸町長、副議長は中元伊方町長が引き継ぎ務め、宮本三崎町長が新たに副議長に

就任しました。調印式には各町の町長以下、助役、議会議長が出席。三町の町長が規約書に署名した後、井上町長が「絆糸曲折はありますが、佐田半島の大半を占める三町が一掃になることは理にかなっており、自然なこと」と会長挨拶。宮本副議長は「多大な迷惑をかけましたが、加入できて大変うれし」と述べられました。

(4)

貴重な意見交換会 町民の声をまちづくりに反映

五月二十九日から六月三十日までの間、各地区においてまちづくり懇談会が開催されました。(二部未実施地区あり)この懇談会は例年実施しておりましたが、今回は近況報告の町合併の状況報告の外、川と浜小学校跡地に開設した施設「瀬戸あいじま」や今年度の主要事業計画について説明がなされました。

参加した地区住民からは「合併したら地区名はなくなるのか」、「三崎町の合併は」、「風車建設のメリットは」、「あいじまは誰でも入所できるのか」等、さまざまな質問意見が飛び交い、皆さんの町づくりに対する関心の高さが伺えました。また、各地区の身近な要望も出され、ひとひざつき合わせられた活発な意見交換がなされ、和やかなりで大変有意義な懇談会となりました。



各会場で熱心な意見交換がされた懇談会 (川之浜地区)

力を頂いた区長さん、皆さんのおかげです。ありがとうございました。

まちの話題

動いているお父さん、お母さんを見たよ

町内の小学校三年生二十名が六月二十六日町内巡りを行い、グループホーム「かざぐるま」農業活性化センターで水耕栽培のお話を聞く。



や消防署、ごみ焼却場、農業活性化センター、役場など町のいろいろな施設を見学し、日頃社会科の授業などで学んだ町づくりや各施設の役割などについて実際に自分の目で「見る」「聞く」体験で、より一層理解を深めました。

児童達は、開近に見る施設の内部や働いている人たちの興味深い話に耳を傾けていました。

町老人クラブ大会 創立四十周年



今年創立四十周年を迎えた町老人クラブ連合会（藤村泰昭会長以下、会員八百四十二名）が六月十四日（土）、町民センターで第十回町老人クラブ大会を開催しました。太鼓集団「風」の演奏で華やかに開会した後、これまで老人クラブの発展に功績のあった方々に対する四十周年記念特別表彰や功労表彰などが行われました。また、元南海放送アナウンサー（現在フリーアナウンサー）の宇都宮民



氏を講師に招き、「心を伝えようコミュニケーション」と題する講演がありました。参加者とのコミュニケーションをうまくとりながら聞き者の心をつかきと捉え、飽きさせないお話にすっかり会場も和み、七十分の講演がとても短く感じられたとの感想が聞かれました。午後からは民謡、舞踊、カポケなどの催しが行われ、参加者の皆さんは楽しい一日を過ごしました。

六月二十三日から二十五日、瀬戸中二年生二十三名が神崎のブリーズハウスで野外活動を行いました。初日、生徒達は神崎までの十六キロの道のりを歩き、まず苦しさには耐える事を学び、さらに班で協力しあって食事の支度やフイールドワークなどを行い、三日間の集団生活を通して相互理解や思いやり、友情の大切さを知るなど貴重な体験をしたようです。

私は、野外活動の中で一番、キャンプが思い出に残りました。残念なことに雨が降ってキャンピングファイヤーができませんでした。一日目と二日目は雨が降りました。その中で楽しむことができたのでよかったです。



バーベキューに使うお箸づくり

六月二十三日から二十五日、瀬戸中二年生二十三名が神崎のブリーズハウスで野外活動を行いました。雨も降ってきたので、楽しかったのだよかったです。

自然の中で集団生活学ぶ

ブリーズハウスの一番の思い出は、飯ごう炊飯です。分量を間違えて二合多く炊いてしまっていたのでよかったです。

出は、ブリーズハウスまで歩いていったんです。瀬戸中学校から十六キロあるトンネルの中を歩くのは、いやでした。車が通るととてもうるさいから、ブリーズハウスに着いたときはとてもうれしかったです。

野外活動で思い出に残ったことは、夜の自由時間です。僕は班で作る料理の中で一番協力してできました。とてもおいしかったです。夜の自由時間では今まで女子と男子がバラバラだったのに今回の野外活動では男女仲良くできました。三日間とても楽しかったです。

みんなの作品

お手本をしっかり見て、何度も練習しました。力強く、バランス良く書くことができました。練習をしてもっと上手になりたいです。

塩成小学校五年生 寶榮 和也くん



大久小学校六年生 阿部 世奈さん



わが家の台風対策を万全に！

第一分署だより

7～9月の台風シーズンには、毎年各地で大きな被害が発生しています。特に、住宅などで受ける台風の被害の多くは、風によるものです。窓や戸のガラスが割れて風が吹き込むと、天井や屋根が飛ばされるというケースも起こります。そうならないために、万全の対策を講じておきましょう。

台風の襲来や規模等は、予測することが出来ます。テレビやラジオ等で、こまめに情報収集を行いましょう。また、役場、消防署からの防災行政無線による広報にも耳を傾け、聞き逃さないようにしましょう。

屋根

- 瓦のひび・割れ・ずれ・はがれはないか。
- トタンはめくれ、はがれはないか。
- ベランダ、鉢植えや物干し竿など飛散の危険が高いものは室内へ。

屋内では

- 停電に備えて懐中電灯やトランジスタラジオの準備を。
- 避難に備えて貴重品などの非常持出品の準備を。
- 台風情報を注意深く聞く。
- むやみに外出しない。
- 飲料水を確保しておく（断水などの恐れが）。
- 浸水などの恐れがあるところでは、家具・道具や食料品、衣類、寝具などの生活用品を高い場所へ移動。
- 病人や乳幼児、身体の不自由な人などを安全な場所へ。

窓ガラス

- ひび割れ、窓枠のがたつきはないか。
- また強風による飛来物などに備えて、外側から板でふさぐなどの処置を。

外壁

- モルタルの壁に亀裂はないか。
- 板壁に腐りや浮きはないか。

雨どい・雨戸

- 雨どいに落ち葉や土砂が詰まっていないか。継ぎ目はずれや塗剥がはがれ、腐りはないか。
- 雨戸にガタツキやゆるみはないか。

三崎高校だより

※第五十三回体育祭開催中※

六月十六日、第五十三回体育祭が開催されました。梅雨のさなかの体育祭で、日々、天気予報を気にかけつつ、両グループとも前意工夫を凝らして、本番当日まで準備や練習をおこなって来ました。心配されたとおり、一日懸延となったものの、降りしきる雨を物ともせず、全通力でトラックを走り回り、泥にまみれた姿は、各校の教室でみせる



ものとはまた違った輝きを放っていました。今年度は白虎の優勝で幕を閉じましたが、どの生徒も充実感に満ちており、体育祭の意義を十分にしみこんでいるようでした。また、道場の音には、平日、雨天の開催にもかかわらず、多くのご声援、また、ちが光っていた。なごさ、みんなの感想もお寄せいただき、生徒の大きな励みとなりました。ありがとうございます。ありがとうございました。

※体育祭を経て「感想」※

雨ばかりで練習が出来なくてどうなるかと思ったりけれど、本音は感動した！雨の中の体育祭もなかなかよかったです。賑わって、グラウンドがぬかぬかだし、グラウンドがぬかるんでなかったら一校だった！

「一致団結」という言葉の意味が分かった気がした。友だちの違う一面を見た。自分たちだけでも、ここまでできるんだと自信が湧いた。



※速水費再開※

本年度より、八年ぶりに本校着席者「速水費」が再開されました。昨年度より、伊予、保内、八幡浜地区から生徒が通学するようになりましたが、唯一の交通手段であるバスも一日に数本に限定されており、部活動や補習等に支障をきたし、長い通学時間が生徒の負担となっていました。現在は一年生二名、二年生三名の計五名が寮生活を行っています。現在は男性教員が交代で合寮を務めており、食後に一緒に課題学習をするなど、有意義な時間を過ごしています。

通学バスの関係で、朝補習に参加できない、時間を気にせず部活動に参加したい、通学時間がもつたいない……などの悩みがあれば、お気軽にお問い合わせてください。

※入寮してよかったこと※

・朝食、夕食完備。
・通学時間の大幅短縮！特に雨の日の通学が楽。
・遅刻の心配なし。
・友だちが勉強していると、対抗心がわいてきて思わず勉強してしまふ。
・規則正しい生活習慣が身に付く。
・洗濯、掃除など、家にとり自分ではなかったことをするようになった。



※地域のみなさまへお願い※

本校「速水寮」は現在、入寮生が少ないこともあり、苦しい運営の中でやりくりしております。分けていただける食材などがございましたら、ご連絡いただけると幸いです。どうぞご協力よろしくお願いたします。



わが家の愛ドル

(三) 榎原博和さんの子



わが家の愛ドル
榎原博和さんの子
わが家の愛ドル
榎原博和さんの子
わが家の愛ドル
榎原博和さんの子



左、姉 菜央ちゃん、後、兄 良太郎とゲームコーナーで

4月から保育園に入園し毎日元気に遊んでいます。3人兄弟の末っ子で甘えん坊の反面、お姉ちゃんを泣かしてしまうこともしばしば。元気でやさしい子に育って、お兄ちゃんやお姉ちゃんと仲良くあそんでね。

—お父さん、お母さんより—

ゆいりやとごみろ

○ゆうパックがスピードアップ！
ゆうパックの翌日配達エリアが拡大されました。

・愛媛、高知、徳島、香川、大分、広島、岡山、兵庫、大阪、京都、和歌山、徳島、奈良
・今回拡大されたエリア
福岡、熊本、佐賀、長崎、山口、鳥取、島根、三重、愛知、岐阜、福井、石川、富山、静岡、神奈川、東京

り翌日配達となりますので、詳しくはお問い合わせ下さい。

ボウリング銀行

次の方々から指定預託の申し出がありました。
○小 島 榎原博和さん
故人が生前お世話になったお礼として地域、福祉活動に役立ててほしいと寄付をいただきました。
紙上より厚くお礼申し上げます。

瀬戸町社会福祉協議会

お礼

広報の発送費用として次の方よりご寄付を頂きました。紙上より厚くお礼申し上げます。
大阪市 山下 満夫 様
松原市 二宮 敬 様

戸籍の窓

平成15年6月分

この掲載は、町内に住所があり直接届出された分のみです。

お誕生おめでとうございます

出生者名 保護者 住所

お悔やみ申し上げます

住所 死亡者氏名 年齢

平成15年6月末現在

- 人口 2,686人 (+4)
- 男 1,248人 (+3)
- 女 1,408人 (+1)
- 世帯数 1,135戸 (+1)
- (1戸は世帯主の世帯)

※広報紙に掲載不要な方は、届出時に申し出て下さい。



園児に絵本の読み聞かせ (大久保保育園)



電脳読書のお手伝い (瀬戸診療所)